

## 第2章 市民生活への超音波応用

### 2.1 超音波応用分野の分類

超音波の応用事例を分類するとき、第1章の表1.3.1で分類したような技術的側面での分類が多い。

この章の分類では、民生用としての超音波応用機器の展開を探るという観点から、表2.1.1に示すように市民生活側に重点を置いた分類をしている。従って、医療診断、洗浄機、溶着装置を初めとした既に産業界で超音波応用機器として確立した分野を有するものは除外している。

表2.1.1の分類は表2.1.2に示した調査などを通じてグループ化されたものであり、市民生活に深く入り込んだ超音波応用分野の現況を物語るものといえる。

1. 家電、家庭用小物
2. 健康管理、障害者援助
3. 衣料
4. 食品
5. 住居
6. 超音波風呂
7. 虫・動物駆除
8. 自動車
9. 交通システム
10. 自然環境
11. その他

表2.1.1 分類項目

1. 超音波関係の各種の文献（章末の参考文献を参照）
2. 1991.1月以降の科学技術文献速報
3. セミナー、講演会、展示会の資料
4. 1970年以降の特許・実用新案
5. 1992.1月以降の日経新聞、日経産業新聞、朝日新聞
6. 1993.1月以降の日刊工業新聞、読売新聞、毎日新聞
7. 各社の製品カタログ

表2.1.2 調査対象

以下で各分類項目の現況を事例を挙げながら説明する。